

政策シート

政策名 **03 自分らしさを大切にすることの育成**

予算費目名 **01 市立高校管理費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **02 子育て・教育**

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策 **02 市民協働による未来創造へのひとつくり**

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくはない、選ばれる学校を目指す。

- ・文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスの取れた人間を育成する。
- ・基礎的学力を十分に備え、自ら考え、行動できる人間を育成する。
- ・グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育							
-----	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	122,062	118,151	127,827			
決算	116,945	115,390				
人件費(報酬等)(A)	5,678	10,269	13,084			
人件費(人工分)(B)	545,300	563,300	535,200			
年間経費(予算又は決算+A+B)	667,923	688,959	676,111			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
国公立大学合格者数	人	目標	150	150	150	150	150	150
		実績	181	184				
全国大会出場部活動数	部	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	10				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う一斉休校の影響を最小限となるよう、時間割の工夫や行事の見直し等により授業時間を確保し、生徒の基礎学力定着など学力保障に取り組んだ。

・グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成するため、キャリア教育や主権者教育など、やり方を工夫し予定通り実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・校訓「誠・愛・節」の精神に基づき、自立的人格の育成と、規律と責任のある生活態度を養っている。 ・高い学習意欲、幅広い教養、論理的思考力などを有した市立生を育成している。 ・生徒会活動、学級活動、行事などの特別活動や部活動を通じて人間性を高める指導を行っている。 ・令和2年度は、コロナ禍においても、生徒の努力と職員の積極的な支援で国公立大学合格者数は前年度並みとなった。 ・全国大会出場部活動数はコロナ禍による大会中止等のため、目標値を下回った。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市立高校教育事業	—	—	○		527,585	14,670	72.0			0.5	7,515
2	市立高校管理デジタル運営経費	—	—	○		57,320	45,020	1.5	0.5			
3	市立高校管理運営経費	—	—	—		91,206	68,137	1.5			2.5	5,569
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						676,111	127,827	75.0	0.5		3.0	13,084

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市立高校教育事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。
 ・政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない「選ばれる学校」を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの 関連性	「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育、質の高い教育実践の継続は教育のSDGsにつながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	18,438	17,695	14,670			
	決算	16,436	11,165				
	国・県支出	387	479	679			
	市債						
	その他	102					
	一般財源	15,947	10,686	13,991			
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)		5,468	7,271	7,515			
人件費(人工分)(B)		511,000	527,600	505,400			
人工	正規	70.0	75.0	72.0			
	再任用(h31)	2.0					
	再任用(h26)	1.0	1.0				
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0		0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		532,904	546,036	527,585			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
国公立大学合格者数			目標	150	150	150	150	150	150
			実績	181	184				
全国大会出場部活動数			目標	10	10	10	10	10	10
			実績	13	10				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 02 03 01 005118000 01 市立高等学校 宮田 治幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・一斉休校の影響を最小限とするため、時間割の工夫や行事の見直しなどにより授業日数を確保し生徒の学びの保障に努めた。
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成のため、キャリア教育や主権者教育などを予定通り実施した。
- ・コロナ禍でもキャリア教育の充実と高い志を持った進路実現のため、生徒指導や進路相談などに力を注いだ。
- ・安心安全な教育環境の整備、特にコロナ禍での環境衛生の指導に取り組んだ。
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善のため、協議検討の場を設定した。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全人教育を標榜し、勉強のみならず部活動や学校行事を教育の大きな柱に据え、生徒には、それらすべてに一生懸命に取り組み、そのプロセスの中で、人間として必要なことを学び、社会に通用する人間力を高めている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う年度初めの一斉休校や部活動大会の中止、学校行事の中止や縮小など、従前と違う状況の中、前年度並みの進学実績となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・GIGAスクール構想の加速化、新型コロナウイルス感染症への対応等喫緊の課題への対応の増加
- ・令和4年度新学習指導要領実施を踏まえた授業改善

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・キャリア教育を推進し、生徒が将来的に社会に適応していくための力を身に付けることを目的とした「浜市ふるさと講座」等を継続して実施
- ・コロナ禍においても、模試の結果等を時系列に分析し、次の成果に結びつくよう活用し、それぞれの生徒にとって最適な進路目標を達成

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・GIGAスクール構想や新学習指導要領の改訂を見据えた環境の充実と学力保障のための授業改善につながる計画的な研修に取り組む
- ・市立高等学校の教育事業運営経費として、現状程度の事業規模は必要

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・規律、責任、品位ある生活態度の定着のための情報モラル研修や生徒指導の充実
- ・GIGAスクール構想や新学習指導要領実施を見据えた学力保障のための環境整備と授業改善
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
- ・安心・安全な教育環境の整備
- ・家庭・地域等との連携推進
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善のため、行事検討、ICT活用等必要に応じた継続的な協議の実施

事業シート (事業名) 02 市立高校管理デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・市立高校のICT環境の整備・充実することで、教育のICT化や校務のICT化を推進し、新しい時代を生きる生徒の学力保障や教職員の働き方改革に繋げる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	・令和時代のスタンダードである「Society 5.0時代を生きる全ての子供たちに公正に個別最適化された学びの保障」のため質の高い教育の確保は、これに資するものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			45,020			
	決算						
	国・県支出			2,750			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			42,270			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				12,300			
人工	正規			1.5			
	再任用(h31)			0.5			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				57,320			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
プロジェクト活用した授業を行う職員の割合			目標			100.0	100.0	100.0	100.0
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 02 03 01 005118000 02 市立高等学校 宮田 治幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
・GIGAスクール構想の加速化、新型コロナウイルス感染症対策など喫緊の課題への対応が増加
・教職員の勤務時間管理など法改正への対応の遅れ



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 改善 小項目 業務改善 / ICT化 事業費 人工
・市立高校ICT5か年計画や国の方針等を踏まえ、市立高校に最適な教育のICT化を推進していくため、令和3年度8月までにアンケート調査による現状把握や情報収集を実施する。
・教育のICT化による保護者生徒の満足度を高めるため、日々の授業改善や最適な研修を行う。
・校務のICT化を推進し、教職員の働き方改革、意識改革を推進する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・令和4年度新学習指導要領に対応した成績管理システムを導入
・市立高校ICT5か年計画を踏まえて、計画的な予算執行と予算要求

事業シート (事業名) 03 市立高校管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市立高等学校の管理・運営に必要な光熱水費、維持管理等経費を有効かつ効率的に執行する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	教育環境を整え質の高い学習の保障や、持続可能な部活動運営など学校運営体制を強化することは、これに資するものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	103,624	100,456	68,137			
	決算	100,509	104,225				
	国・県支出	105	9,496	73			
	市債						
	その他	1,329	387	1,412			
	一般財源	99,075	94,342	66,652			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		210	2,998	5,569			
人件費(人工分)(B)		34,300	35,700	17,500			
人工	正規	3.7	3.5	1.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0	2.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		135,019	142,923	91,206			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 02 03 01 005118000 03 市立高等学校 宮田 治幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・市立高等学校を管理・運営していくため、職員、生徒に要する経費及び施設を維持していくための管理や補修費に関する事務の執行
- ・コンピュータ機器等の維持運用管理の実施



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市立高等学校の管理運営に必要な光熱水費、施設を維持していくための管理や補修費、消耗品の購入などを執行した。
- ・既設情報機器等の維持管理を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため環境衛生に係る物品等の整備を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・GIGAスクール構想の加速化、新型コロナウイルス感染症対策など喫緊の課題への対応が増加
- ・教職員の勤務時間管理など法改正への対応の遅れ



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設設備の緊急修繕は、生徒が安全安心な学校生活を送ることを最優先に実施したが、計画性がなく、見通しがたっていない。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・経年劣化による施設設備修繕が頻繁になっており計画的な維持修繕と事業費確保が必要である。
- ・時代に即した校務のICT化を進め、教職員の働き方改革へつなげる。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・市立高等学校を管理・運営していくため、職員、生徒に要する経費及び施設を維持していくための管理や補修費に関する事務を行う。
- ・施設整備事業費と合わせた中で、施設設備等の長寿命化計画策定のための劣化調査を実施
- ・GIGAスクール構想を踏まえた教育のICT化及び校務のICT化は市立高校管理デジタル運営経費へまとめる。
- ・生徒が安心安全な生活を送ることができる為の環境整備の充実

政策シート

政策名 03 自分らしさを大切にすることの育成

予算費目名 02 市立高校建設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 02 子育て・教育

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策 02 市民協働による未来創造へのひとつくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

学校施設設備整備事業の実施
全面建替以降27年を経過し、補修・改修を要する設備、箇所が増えているなか、緊急性と重要性を勘案し、適時に整備事業を実施する。

(3) 関連するSDGsのゴール

			④教育				
--	--	--	-----	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	40,625	106,556	24,352			
決算	41,232	105,442				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,100	3,500	8,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	43,332	108,942	33,152			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・講堂舞台照明装置更新工事の実施

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

・講堂舞台照明装置更新工事により、舞台照明が改善されたが、経年劣化による施設設備の更新はまだ不十分である。。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市立高等学校施設整備事業	—	—	○		33,152	24,352	1.0	0.5			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						33,152	24,352	1.0	0.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市立高等学校施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

夢と希望を与え、健康で文化的な教育環境を提供するため計画的に学校施設整備の整備、充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	生徒が安心、安全に学校生活を送ることができるとともに、夢と希望を与え、健康で文化的な教育環境を提供するため計画的に学校施設整備の整備、充実を図ることは、これに資するものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	40,625	106,556	24,352			
	決算	41,232	105,442				
	国・県支出						
	市債						
	その他		100,000				
	一般財源	41,232	5,442	24,352			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	3,500	8,800			
人工	正規	0.3	0.5	1.0			
	再任用(h31)			0.5			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		43,332	108,942	33,152			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 02 03 02 005118000 01 市立高等学校 宮田 治幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・講堂舞台照明設備更新工事

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・講堂舞台照明設備が更新され、舞台照明の環境は整備された。
・経年劣化している学校施設整備の更新が十分でない。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・長寿命化計画策定が未実施

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設の適正な維持管理を行う事業であり、整備、維持補修を行うことによって適正な財産管理と学校環境整備の充実を図るための予算が十分ではなかった。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市立高等学校の新築から27年が経過し、経年劣化による修繕が年々増えていることから、長寿命化計画策定に基づく、計画的な改修が必要不可欠である。
・適正な施設設備改修や保全管理を行うためには、専門的な人材が不可欠

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・計画的に学校施設整備を整備し、建物の長寿命化を図る必要があることから、長寿命化計画策定のための劣化調査を実施する。
・長寿命化の一環として、体育館棟床面貼替改修工事を行う。